

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしやかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(だい 15 期 だい 1 年 だい 3 かい だい 2 にち)
ぎじろく
議事録

1 にちじ 2024 (れいわ 6) ねん 11 がつとおか (にち) ごご 2 じ 00 ぶん～5 じ 00 ぶん
日時 2024 (令和6)年11月10日 (日) 午後2時00分～5時00分

2 ばしょ かわさきしこくさいこうりゅうせんだー
場所 川崎市国際交流センター

3 しゅつせきしや
出席者

(1) だいひょうしや 25 人
(1) 代表者 25人

あでいだよ よざ、いとウ ユリカ キヤレン、ウイ スー ケット、かまた
ファチマ、ギーゼツケ フロリアン、きむ すよん、しやん ぼうじよ、じよん じえふん、
スリニヴァサン スチエタ、スン チン グアン、セネ アイサトウ チンボ、
だお てい はーい ハン、ちよう よう、ひらの じょいみ、ひりすとば
ガブリエラ、ブー ホン アン、プストフスキーフ アナスタシア、ふるや ふみこ、
ぽかれる ならやん、ぼそ みげル アンヘル、ぼらにすき ぴょーとる、やん
ついー ラハマシ ジアウル、リ し、るいす じえームす
子宜、ラハマシ ジアウル、李 詞、ルイス ジェームス

(2) じむきょく
(2) 事務局

すがはら 課長、みたむら かちよう ほき つがね たんとうかかりちよう おがた しよくいん つつみ しよくいん、
たかはし せんもんちようさいいん
菅原 課長、三田村 課長補佐、津金 担当係長、緒方 職員、堤 職員、
高橋 専門調査員

4 ぼうちようしや 16 人
傍聴者 16人

5 かいぎしだい (こうかい)
会議次第 (公開)

(1) かいかい
(1) 開会

(2) じむきょくせつめい
(2) 事務局説明

(3) ぎじ
(3) 議事

(4) じむれんらく
(4) 事務連絡

(5) へいかい
(5) 閉会

【全体会】

セネ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2024年度第3回第2日を開催する。今日は、朴さんが欠席だ。まずは、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いする。」

（事務局三田村課長補佐が説明）

セネ委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明）

セネ委員長「何か質問はあるか。」

ブストフスキー委員「4ページで第2回第2日となっているのは、第3回第2日か。」

事務局高橋専門調査員「第3回第2日だ。失礼しました。」

セネ委員長「ほかに何かあるか。（なし）それでは、議事に入る。まずはイベントへの参加についてだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局緒方職員が資料2に基づき説明）

セネ委員長「何か質問はあるか。」

金委員「お茶というのは、それぞれの代表者の国のお茶を用意するイメージか。」

事務局緒方職員「いろいろな国のお茶を用意するが、用意するのは代表者ではなく主催者だ。」

ヒリストバ委員「イベントも代表者会議の活動の一部だと思って、できるだけ参加して欲しい。」

セネ委員長「ほかに何かあるか。（なし）それでは、多文化フェスタさいわいに参加することに賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）次は、オープン会議についてだ。事務局から説明をお願いする。」

（事務局三田村課長補佐が資料3に基づき説明）

セネ委員長「続いて、実行委員会の報告を副委員長からお願いする。」

スリニヴァサン副委員長「実行委員会の中で議論したこととしては、各テーマの時間を何分にするかということで、15分がよいのではないかという意見があった。」

セネ委員長「何か質問はあるか。」

イトウ委員「記録係は何人でもよいとなっているが、ホワイトボードに書くのか。それとも、自分のノートに書くのか。」

事務局三田村課長補佐「ホワイトボードではなく、自分のノートなどに書くことにな

る。」

セネ委員長「ほかに何かあるか。（なし）それでは、役割分担を決めたい。順番に希望を教えてください。（順番に希望を確認→人数調整）では、これで確定とする。このあとは部会審議だ。部会Aはレセプションルーム、安心生活部会は第1会議室だ。全体会の再開は16時35分からだ。」

【部会A】

アディダヤ部会長「それでは部会を始めたい。今日の部会の審議テーマは、情報発信・周知についてだ。まずは、今日の部会審議について、事務局から説明をお願いします。」

（事務局緒方職員が資料4に基づき説明）

アディダヤ部会長「何か質問はあるか。（なし）それでは、さっそく議事に入る。まずは、部会の名称についてだ。事務局から説明をお願いします。」

（事務局緒方職員が資料4に基づき説明）

アディダヤ部会長「何か質問はあるか。（なし）それでは、決を採る。社会生活に賛成の人は手を挙げてください。（4人）多文化社会に賛成の人は手を挙げてください。（7人）情報・家族に賛成の人は手を挙げてください。（2人）部会の名前は多文化社会に決まった。続いて、情報発信・周知について審議をしたい。事務局から説明をお願いします。」

（事務局緒方職員が資料4-1～4-4に基づき説明）

アディダヤ部会長「何か質問はあるか。」

セネ委員長「これから審議をしていく中で、日本語が共通言語として通じるという前提で話を進めるのは違うと思う。代表者会議としては、日本語が難しくくて困っている人のことも考える必要があると思う。」

スン委員「「外国人の皆さんへ」は素晴らしいと思う。ただ、フォントが小さくて見づらい。すべての言語を1冊にまとめるのではなく、言語ごとにわけてフォントを大きくするとよい。」

スリニヴァサン副委員長「今のはよい指摘だと思うが、もう少しどのような課題があるのかということ意識して審議した方がよいのではないか。」

鄭委員「情報へのアクセスではなく、発信と周知という観点で議論した方がよい。資料からわかったこととしては、外国人市民がインターネットで情報を得るときに、市のホームページを参考にしていないということだ。利用率が低い

であれば、既存のものを周知するよりは、別の視点で考える方がよいかもしれない。」

アディダヤ部会長「1つ目に、日本人も同じだと思うが、ウェルカムセットの情報量が多すぎる。QRコードをつけて効率化した方がよい。2つ目に、それぞれの国でよく使われているSNSがあるので、それを活用すると情報が拡散すると思う。」

ギーゼッケ委員「ほかの人と同じだと思うが、困っていないときに情報が届いてもあまり見ない。情報は本当に困ってから探すことが多いと思う。個人的には、ウェルカムセットは引越してから3か月後とかのタイミングでもらった方がよいかなと感じる。」

ルイス委員「自由に話せると読めるのは全然違う。私も留学して1年後には話ではきたが、なんでも読めるわけではなかった。」

ブー委員「国によってよく使うSNSが違ふといった意見はそのとおりだ。旅行会社でよくやるように、代表者会議のイベントなどでQRコードを読み込むと何かプレゼントがもらえるようにしたらどうか。」

ルイス委員「私の知り合いの話だが、みなさん情報があるのに見つけられない。私は情報が多すぎると思っているが、かれらは足りないと思っている。みなさんはどう思っているのか。」

セネ委員長「QRコードの話がよく出ているが、高齢者など紙媒体の方がよい人もいるかもしれない。両方あるとよい。」

ウイ委員「資料では、情報の入手方法でインターネットが78.2%、市のホームページが16.6%となっているが、最初はインターネットで検索して、最後は市のホームページを見ているのではないかと思う。冷蔵庫にマグネットで貼って、何かあればすぐ見るようなそういうものがあるとよい。」

ヒラノ委員「私はもう少し具体的に、入院の際の情報について外国人に共有する必要があると思っている。」

ラハマン委員「ウェルカムセットについて、ただ渡すだけではなく、1時間くらい読んで説明してあげるとよいのではないかと思う。」

ダオ委員「いろいろな意見が出たが、人によって必要な情報が違ふし、日本語能力も違ふ。市のホームページで、日本語ではなくベトナム語で調べたら意外と情報があつた。みなさんも母語で調べてみたらどうか。」

アディダヤ部会長「連絡先がインドネシア語で書かれていても、日本語で何というの

かわからない。電話だと日本語でかけると思うので、ローマ字表記があるとよい。」

鄭委員「妻が妊娠をして、区役所に母子手帳をもらいに行ったのだが、何週目に何をするみたいなものが一覧で整理されているものをもらった。こういったものがあるとよいのではないか。」

古谷委員「住民登録なら住民登録、病院なら病院、学校なら学校で、それぞれで早めに情報を教えてくれるとよい。いろいろなところで情報を発信するとよい。」

アディダヤ部会長「そろそろ時間なので、情報発信・周知に関してはここまでのしたい。残りの時間は、子育て・教育についての資料のリクエストだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局緒方職員が説明)

アディダヤ部会長「それでは、リクエストは何かあるか。」

セネ委員長「子どもがいる場合に、川崎市に引っ越してきたときにどういった資料がもらえるのか知りたい。あとは、学校につなぐためのフローがどうなっているのか知りたい。」

アディダヤ部会長「学校で外国にルーツのある子どもたちが困っていることがあれば知りたい。」

ブー委員「学校関連の相談窓口について知りたい。」

スン委員「保育園の空き状況を知りたい。」

ラハマン委員「妊娠したときに区役所でももらえるセットを知りたい。」

スリニヴァサン副委員長「市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校の一覧があれば欲しい。国際学校の情報についてもいただきたい。」

ウイ委員「中学校までは義務教育なのでわかるが、高校受験から公立、私立などあるので、そのあたりの資料が欲しい。」

ダオ委員「ひとり親の場合に区役所でももらえる資料について知りたい。」

鄭委員「子どもに関連して、七五三のような日本の文化を紹介する資料があるのか確認して欲しい。」

古谷委員「学校に外国人の子どもがどのくらいいるのか知りたい。あと、高校の進学率、中退率のようなものがあれば知りたい。」

セネ委員長「子育て支援全般について資料をお願いしたい。」

アディダヤ部会長「それでは、時間になったので今日の部会審議はここまでのする。」

【安心生活部会】

単部会長「それでは、部会審議を始めたい。今日の審議テーマは、防災・災害についてだ。まずは、事務局から今日の部会審議について、説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料5に基づき説明）

単部会長「何か質問はあるか。（なし）それでは、さっそく審議に入る。

事務局から資料の説明をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料5－1～5－2に基づき説明）

単部会長「何か質問はあるか。」

鎌田委員「実態調査を5年に一度やっているとのことだが、2024年はどうなっているか。結果はいつわかるか。」

事務局高橋専門調査員「今年度も実施している。結果の公表は、おそらく来年の4月になると思う。」

イトウ委員「2017年度の提言はAになっているが、実際のところがどうなのかはやはりわからないか。」

事務局高橋専門調査員「実際の避難所でどのくらい活用されているかはわからない。

意識の高いところでは活用されているかと思うが、市内の181の避難所でどこでも活用されているかといわれるとできていないと思う。」

金委員「「備える。かわさき」は住民登録のときに、もらえるのか。」

事務局高橋専門調査員「過去の提言でウェルカムセットの中に入れて欲しいということになっているのだが、現状では入っている区と入っていない区がある。あとは、区役所などの情報コーナーに置いてあったり、ホームページでも公開していたりする。」

楊委員「機能別消防団員についてだが、これはボランティアか。それとも給料がもらえるのか。」

事務局高橋専門調査員「給料ではないが、活動に応じて報酬が出る。」

楊委員「何か資格を持っていないと参加できないのか。」

事務局高橋専門調査員「正確な情報ではないかもしれないが、募集の案内には資格のことは書いてなかった。」

プストフスキー委員「防災マップや土砂災害ハザードマップのやさしい日本語はホームページに掲載されていないようだが、それは通常の日本語が掲載されているからか。」

事務局高橋専門調査員「理由はわからない。」

李委員「防災訓練などのイベントはどうやって知らせているか。」

事務局高橋専門調査員「たとえば、市政だよりや市民館だよりなどだ。あとは、地域の
ものであれば町内会・自治会の回覧板や掲示板などになると思う。」

ブストフスキー委員「町内会・自治会レベルの防災訓練は、必ず年に1回やらなければ
ならないなどのルールはあるか。」

事務局高橋専門調査員「区の防災訓練は年に数回やっているが、地域レベルのものは
年に何回といったルールはないと思う。」

張委員「2008年の提言でピクトグラムがAになっているが、ピクトグラムにした
ことで何かフィードバックはあったか。」

事務局高橋専門調査員「フィードバックまではわからない。」

鎌田委員「川崎市には町内会や自治会が654団体あるとのことだが、多言語の資料
を配っているか。」

事務局高橋専門調査員「おそらく、独自に多言語の資料をつくって配っているという
ことはほとんどないと思う。」

ボソ委員「説明を聞いて思ったのは、市はいろいろとしてくれている。足りない部分
は、代表者会議としてツールをつくったりして力になれるかもしれない。あ
とは、私たちがこの会議をとおして勉強して知ったことを発信していくこと
も必要なのではないか。」

ボラニスギ委員「ワンストップセンターでの相談件数が4件ということで、意識が薄
くなっている感じがする。」

単部会長「そろそろ時間なので、防災・災害についてはここまでとしたい。残りの
時間は、次回の審議テーマである共生コミュニティの形成についての資料の
リクエストとする。まずは、事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が説明)

単部会長「何かリクエストはあるか。」

張委員「外国人市民が参加している川崎市内のイベントがどのくらいあるのか知り
たい。」

事務局高橋専門調査員「イベントというと広すぎるので、外国人を対象としたものや
多文化関連のイベントでよいか。」

張委員「それでよい。」

金委員「毎週集まって話をするサロンのようなコミュニティがあるのか知りました

い。」

事務局高橋専門調査員「2人の関心を聞いていると、地域のコミュニティというよりはイベントに近いような印象がある。共生コミュニティというのは、住んでいる地域をベースとしたものかと思っていたのだが、そのあたりみなさんはどう考えているのか教えて欲しい。」

張委員「住んでいる地域のコミュニティのことを考えていたが、すぐに質問が思い浮かばなかったのでイベントとした。」

金委員「私もまだよくわからないところがあるので、サロンとした。」

イトウ委員「住んでいる地域でのコミュニケーションが大事だと思うのだが、実際にはどうしたらよいかわからない。地域のお祭りなどで話をするような仲になりたいのだが、どうしたらよいのか。」

ブストフスキーフ委員「私も住んでいる地域の人々が仲よくできるようなイメージなのだが、市としてできることは限られているのではないかと思った。外国人同士でもなかなか挨拶したりはしない。」

金委員「祭りとか、イベントとかは、非日常になってしまう。悪くはないのだが、日常的なつながりとは違うよう思う。」

ヒストリバ委員「町内会というキーワードがよく出てきたが、よくわからないので説明する資料が欲しい。」

単部会長「それでは、時間になったので、今日の部会審議はこれで終了にする。」

【全体会】

セネ委員長「それでは全体会を再開する。まずは、部会報告だ。安心生活部会から報告をお願いします。」

単部会長「今日は、防災・災害について審議した。主な意見としては、1つ目に情報があっても意識しないとなかなか見ないという意見があった。2つ目に、市がまだできていない部分を、代表者会議でツールをつくるなどして提言できるとよいといった意見があった。3つ目に、情報の発信をどのように工夫していくのか考える必要があるといった意見もあった。次回は、共生コミュニティの形成について審議する。」

セネ委員長「何か質問はあるか。（なし）では、続いて部会Aの報告をお願いします。」

アディダヤ部会長「今日は、まずは部会の名前を決めた。3つの候補の中から多文化

社会に決まった。審議では、今日のテーマは情報発信・周知だった。主な意見としては、若い人だけではなく、高齢者のことも考える必要があるといった意見が出た。それと、日本語が通じない人へのサポートを考える必要があるといった意見も出た。ほかには、国によってよく使うSNSが違うといった意見も出た。次回は、子育て・教育について審議する。」

セネ委員長「何か質問はあるか。（なし）では、次は実行委員会報告だ。交流イベント実行委員会の報告をお願いします。」

イトウ委員「この間、いろいろと協力していただいております。個人的には会議で発言するだけが活動ではないと思っている。どちらの部会でも情報を伝えることの難しさが議論されているようだが、私たち自身がイベントなどで情報発信することも大事だと思っている。」

セネ委員長「今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いします。」

【事務連絡】

・富士通フロンティアーズとの交流会のアンケートについて

セネ委員長「それでは、以上で今日の日程は終了だ。次回は12月15日、日曜日、中原市民館でオープン会議となる。いつもと会場も集合時間も違うので、間違えないように気をつけてください。これで、2024年度第3回第2日の会議を終わりにする。